

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	多次元X線タイコグラフィによる次世代放射光顕微分光プラットフォームの構築
研究代表者	高橋 幸生 (大阪大学・大学院工学研究科・准教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、放射光を用いたコヒーレントX線回折法に基づくタイコグラフィを駆使して、ナノスケールのイメージングと分光を高度に実現するプラットフォームの構築を目的とするものである。これまで応募者は、実空間イメージングを復元するための新しい位相回復アルゴリズムを提案し、世界に先駆けて硬X線領域でのタイコグラフィX線吸収分光法を実証しており、国際的に最先端の研究を発表している。</p> <p>本研究は、これらの研究成果に裏付けされた、世界的にも先駆的な研究である。本研究による顕微分光の高度化は、将来の次世代放射光施設を利用した更なる新材料研究への道をつけるものとして期待できる。</p>